

雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

「主体的・対話的で深い学び」を通して



教師の授業力向上のための研修

7月4日(木)数学科授業研究

講師:玉置 崇教授(岐阜聖徳学園大学)



4時限3年2組 道徳 玉置崇教授の示範授業



7月4日(木)、私は東海北陸中学校長会研究協議会愛知大会に出席するために、名古屋国際会議場に出かけていましたので、この日に行われた玉置崇教授、K先生の授業を参観できなくとも残念に思っていました。どんな授業だったのか、気になっていたのでビデオ録画しておいたものを見ました。その感想等を書きます。

玉置崇教授が、道徳資料「あるレジ打ちの女性」を使って、「考え議論する道徳」の授業を公開されました。生徒は、まず自分で考え、グループで議論し、全体で自分の意見を出し合う「主体的・対話的で深い学びのある授業」でした。「なぜ、レジ打ちの女性がこんなにも変わったのか」について、生徒は自分自身に置き換えて本音で語っている姿に感動しました。真剣に自分事として考える時に、「沈黙」があります。この「沈黙」こそが、考える力を育成するのに大切な時間であることを学びました。



5時限2年2組 数学科 研究授業

K先生が、2年2組で数学科研究授業を公開しました。研究理論と実践をどうつなぐのかを学ぶために、全職員が小集団での生徒の学びを記録し、授業後の研究協議会に生かそうと真剣に授業分析をしました。

授業後の研究協議会で、講師の玉置崇教授から、次のことをご指導いただきました。

- ・K先生の笑顔が、生徒に何でも話してもよいのだという雰囲気をつくりだしています。生徒の考えをすべて受容する態度が大切です。「わからない」と気軽に言える学級の雰囲気が素晴らしいです。
- ・今、額田中学校が目指している研究は、これからの時代を生き抜く生徒を育成するのに価値あるものです。新学習指導要領で今までと全く違っていることは、「予測困難な未来社会」という言葉を使っていることです。学習指導要領は、10年ごとに改定されます。それは、10年先を見込んで、今、子どもにどんな力を育成したらよいかの方針を示してきました。今回の学習指導要領は、「予測困難な未来社会を生き抜く力」を育成することを目指し、10年先を見据えることができないことがわかります。額田中学校の研究主題「自ら学び続け、未来を切り拓くことができる生徒の育成—CRSで『学びに向かう力』を引き出す授業づくり—」は、「予測困難な未来社会」を見据えたものです。やらされる学習、活動ではなく、「主体的な学び」をつくりだしてほしいと思います。
- ・「主体的・対話的で深い学び」のある授業をつくるために、額田中学校では、小集団での学び「CRS」を生徒の立場、教師の立場でとらえ、「学びに向かう力」を引き出そうとしている点に価値があります。本当の意味での「対話」にするには、異質な集団で議論させ、「わからない」「困った」と自分から話す力を育てることが大切です。「対話」を成立させるには、教師が「つなぐ」ことを意識し、地道に積み重ねていくしかないと思います。まず、学校の中で、「助けて」「困った」と言える生徒を育てることが、社会で生き抜く人につながっていくと考えています。教師のC(Catch)R(Response)S(String)を鍛えて、生徒も鍛えていきたいと思っています。

7月8日(月)の集会で表彰披露

・Sさん (平成31年度豊橋総合動植物公園春の写生会 豊橋市長より表彰)

入選

・Kさん (岡崎市民クラス別卓球選手権大会 中学生女子1・2年の部240人参加)

優勝

教師の授業力向上のための研修 7月9日(火) 英語科要請訪問 講師: 笥 真由美先生(南中学校)



5時限 2年2組 英語科公開授業



校長室で英語科研究協議会

7月9日(火)、5時間目に2年2組で英語科の授業研究が行われました。講師に岡崎市英語科指導員の笥真由美先生(南中学校)を講師に迎え、これからの授業についてのあり方を学びました。

英語科指導員の笥真由美先生からのご指導

- ・生徒が英語の授業に主体的に取り組んでいます。英語を楽しそうに学んでいることが素晴らしいです。英語でコミュニケーションをしようとする雰囲気ができています。
- ・「I went to ~」と「I want to ~」と正しい発音できていない生徒がいたので、生徒に気づかせるように反応するとよいと思います。
- ・小集団による CRS は、生徒が英語表現に Challenge、お互いに Respect、英語を楽しむ Smile の CRS がうまく働いていました。教師がその生徒の動きを Catch、Response、String の具体化が大切です。

教師の授業力向上のための研修 7月10日(水)道徳要請訪問 講師: 伴 巨裕先生(六ツ美北部小学校)



3時限 3年1組 道徳公開授業



校長室で社会科研究協議会

7月10日(水)、3時間目に3年1組で特別な教科 道徳の授業研究が行われました。講師に岡崎市道徳指導員の伴巨裕先生(六ツ美北部小学校)を講師に迎え、道徳の授業のあり方を学びました。

道徳指導員の伴巨裕先生からのご指導

- ・資料「手品師」を使って、「誠実」について小集団で真剣に話し合う姿が素晴らしかったです。「手品師が迷いに迷っていた理由は何か」に焦点化して話し合うともっと深い学びにつながったと思います。
- ・CRS の活動に生徒は主体的、対話的に取り組んでいました。教師が生徒の CRS の活動を捉え (Catch) 反応 (Response) し、つなぐ (String) という教師の出をもっと具体化しておく、さらに深い学びに展開していくと思います。
- ・最後の生徒の発表を聞くと、自分事として「誠実」について多面的、多角的に考えていることに感動しました。額田中学校が着実に研究を進めていると思いました。

教師の授業力向上のための研修 7月11日(木)社会科要請訪問 講師: 森田 淳一先生(翔南中学校)



3時限 1年1組 社会科 公開授業



校長室で社会科研究協議会

7月11日(木)、3時間目に1年1組で社会科の授業研究が行われました。講師に岡崎市社会科指導員の森田淳一先生(翔南中学校)を講師に迎え、これからの授業についてのあり方を学びました。

社会科指導員の森田淳一先生からのご指導

- ・課題に対して、生徒は CRS の活動で自分の意見を出し合っていました。生徒は主体的、対話的に授業に取り組んでいたところが素晴らしいです。
- ・CRS の活動で、ホワイトボードにグループの意見を書き出して、意見を整理するとよいと思いました。
- ・CRS の活動を捉えて、具体的にどんな支援をすると生徒の考えが深まっていくのかを見通すことが大切です。そのために、発問を明確に、生徒が次の学習を見通せるようにすると深い学びにつながります。